

中身排出機構各種

No.	販売時	作動時	使用方法・その他
			<p>スプレーから押しボタンを引き抜く。                      キャップの内側にティッシュペーパーを5～6枚詰め、セロハンテープで浮かないように止める。                      容器を立てた状態でステムにキャップ天面の穴を合わせて押し込む。キャップが固定されるとシューという音とともにガスと内容液が抜ける。2～3時間放置後、缶に油性ペンで“ガス抜き済み”と表示し、キャップと分別廃棄する。</p>
			<p>中身を使い切ってからスプレーボタンを取り外す。                      キャップ天面を上にして置き、缶を逆さにして中央の穴にノズルを合わせて缶を押し込むと、ガスと内容液が抜ける。                      噴射音が完全に消えてから数分そのまま放置した後、キャップを外し、缶と分別廃棄する。</p>
			<p>ボタンを押したままつまみを「ガスぬき」に入れる。                      ガスがぬけたら、キャップの両側を持って横に倒しキャップごとはずす。                      中身が残っている場合は火気のない戸外での操作を行い、内容液とガスを全部出しきってからキャップを外す。                      この際中身が泡状ででてくるので、受け容器を用意しておく。                      誤ってつまみを「ガスぬき」に入れた場合「OPEN」にもどせば中身の噴出が止まる。</p>
			<p>噴霧ボタンをおおうカバーを引き抜く。                      引き抜いたカバーを半回転し、カバーのせまい切り込み部分にある三角マークとボタン天面の丸印を合わせる。                      もとのようにカバーを缶にはめこむとガスと内容液が抜ける。                      噴射音が完全に消えるまで放置し、缶とカバー・ボタンを分別して廃棄する。</p>
			<p>同梱のガス抜き用アダプタを取り外し、ポンペ先端に装着する。                      キャップ内側の穴あきガイドをアダプタ先端に合わせ押し込んでキャップをロックすると残留ガスが噴射される。                      残留ガスが完全にないことを確認した後、キャップと缶を分別廃棄する。</p>
			<p>使い切った製品のキャップを外し、キャップ天面中央部を押し込み、缶にはめるとボタンが常時作動状態になり、ガスと内容液が抜ける。                      内容物が全て噴射されたらキャップ・ボタンと缶を分別廃棄する。</p>